



平成 30 年 9 月 10 日  
佐賀大学理工学部

## 花田英輔教授が先進コンピューティングと情報技術に関する 国際シンポジウムにおいて基調講演

### 【概要】

知能情報システム学科の花田 英輔 教授が、平成 30 年 8 月 16 日から 19 日にかけて台湾日月潭で開催された先進コンピューティングと情報技術に関する国際シンポジウムにおいて基調講演を行いました。

### 【本文】

平成 30 年 8 月 16 日から 19 日にかけて台湾の日月潭教師会館において、アジア太平洋コンピューティング及び情報技術学会主催「2018 International Symposium for Advanced Computing and Information Technology (2018 年度先進コンピューティングと情報技術に関する国際シンポジウム)」が開催されました。

同シンポジウムにおいて、知能情報システム学科の花田 英輔 教授が「The necessity of interdisciplinary collaboration for the improvement of wireless communication in medical settings」と題して基調講演を行いました。

花田教授は佐賀大学赴任前に長年大学病院医療情報部に勤務しており、また 2 つの大学病院の再開発に携わった経験から、医療現場における無線通信の重要性と、その安全かつ効果的な導入について豊富な知識があり、建築材料による電磁波への影響なども含めて、無線 LAN 等の無線通信を医療現場に導入し効果的に運用するための要点を挙げ、医療機関の各部門が協力することの重要性を訴えました。また、この講演を通して、若い研究者に対して、問題解決に向けては個人的な考えにとどまらず、複数の視点を持つことの重要性を訴えました。

講演に対していくつか質問等がなされ、花田教授は、それらに対して具体的に回答を行いました。また花田教授は、この後のセッションにおいて座長も務め、積極的に質問するなど、議論を盛り上げました。



基調講演の様子



座長として質問する花田教授